

空き家リノベーションプロジェクト！

〜のんびり田舎生活〜



地域おこし協力隊・地域の皆さんと一緒に

はじめに

プロジェクトを立ち上げたきっかけは、「総合的な探究の時間」の中で、種子島の活性化について考えたことです。ふるさと種子島について調べる中で、種子島には地元の方だけでなく、移住者の方々が多く住んでいることが分かりました。さらに、昨年度の活動の中で、多くの移

住者の方が種子島を盛り上げようと各方面で活躍されていることを知りました。(昨年度、「サヤカリー」を開業された川鍋さやかさんにインタビューをしました。A v a y a 2020 Vol. 21掲載)。そのような出会いの中で、種子島の更なる活性化を図るためには、より多くの移住者の方を受け入れる環境を整えることが必要なのではないかと考えました。

空き家リノベーション

プロジェクトとは？

更なる移住者を呼び込もうとプランを練る中、耳にしたのが種子島の空き家問題です。島内の農家の方が所有しているものの、使われないまま空き家になっている家屋が島内には多く存在しています。そこで、空き家を利用した体験型の企画として立ち上げたのが「空き家リノベーションプロジェクト」です。島外の方に、実際に空き家に住んでもらうことで、「のんびり田舎生活」を疑似体験してもらいたいと考案した企画です。ターゲットは、移住を検討している方だけではなく、種子島での生活を疑似体験することを通

して、観光を目的として訪れる方にも移住を考えるきっかけを提供したいと考えています。
また、企画の中で大切にしたのは、空き家を提供する島内の方々へのメリットです。

【家主のメリット】

- ・空き家を宿泊施設として貸し出すことで、収入を得ることができる。
- ・宿泊施設だけでなく展示会場やイベント会場など、家主が自由に使用用途を検討することができる。
- ・空き家の提供を通して、多くの方と触れ合うことができる。

【利用者のメリット】

- ・地元の方とともに暮らす環境に身を置くことで、種子島での生活を疑似体験できる。
- ・Wi-Fi完備によりリモートワークも可能であるため、一定期間、仕事をしながら種子島の自然や田舎暮らしを楽しむことができる。
- ・農家の方と一緒に農業体験をしたり、地域の方々との交流が気軽にできたりする。



空き家の外観



【種子島のメリット】

・利用者に対し、観光や海のレジャー体験、レンタカーの利用など、様々なプランを提案することで、地元産業の活性化に繋げることができ、期間限定の田舎暮らしを提供することで、移住者の獲得に繋がる。

※利用者がいない時期には、各種ワークショップの会場やギャラリーとして場所を提供することで、地域の交流の場となる。

島外の方が種子島での生活を疑似体験できるというメリットがあるのは勿論ですが、その機会を提供する島内の方々にもメリットがあることで企画が実現します。家主、利用者、そして種子島全体にメリットがあるように、地域おこし協力隊の方々と地元の方に協力を頂きながら、何度も話し合いを重ねました。



リノベーションの様子

リノベーションまでの流れと現在の活動

リノベーションに着手するまでには、空き家の内見や間取り・内装の考案など、全てを自分たちの手で一から始めなければなりません。戸惑うことも多くありましたが、地元の方々に支えていただきながら、何とか軌道に乗せることができました。特にこだわったのは、「幅広い年代層の方に快適に利用してもらえようにする」ことです。子どもから



年寄りまで、多くの方に心地良く利用していただけるような空間作りを大切にしました。また、空き家を提供して下さった家主の方との打ち合わせも密に行い、家主の希望を取り入れることで、住み心地の良さを高めるアイデアを頂くことができました。

現在は地域おこし協力隊の方々と地元の方に協力を頂きながら、実際に空き家のリノベーションを行っています。コロナ禍での活動で制限されることも多くありますが、いか利用して下さる方々に笑顔になってもらえるように、そして、種子島の活性化に少しでも貢献できるように、日々活動に取り組んでいます。

さらに今後は、インスタグラムを使って情報を発信したり、クラウドファンディングを利用して活動のための資金集めを行ったりすることで、活動をより多くの方々に知っていただきたいと考えています。

今後の展望

まだまだ途中の段階ではありませんが、空き家をリノベーションしたい！という私たちの思いに共感し、一緒に活動して下さる地元の方々とお出会ったことが大きな財産だと感じています。地域おこし協力隊の方々に始め、多くの方の支えがあった活動できていることに感謝の気持ちでいっぱいです。協力して下さる地域の方のためにもプロジェクトを成功させ、種子島の活性化に貢献

したいです。また、プロジェクトを通して、住み慣れた種子島を客観的に見つめ直すことができたと思います。豊かな自然と美味しい食、そして何より温かい人がたくさんいる種子島の素晴らしさを再発見することができました。私たちの種子島への思いが伝わり、一人でも多くの移住者の方を迎えられるように、完成まで頑張っていきたいです。

完成までは時間が掛かりますが、大好きなふるさと種子島の良さをより多くの方に伝えるため、空き家を素敵な場所にリノベーションします！完成した際には、島内の方にもたくさん利用していただきたいです。

(本プロジェクトは、第2回「かごしま空き家コンテスト」優秀賞に選ばれました。)



鹿児島県立種子島中央高等学校
普通科 2年 上妻 咲希
葛 ちひろ
高磯 心路